

2013年本屋大賞ノミネートの感動作、早くも文庫化！映画化！

小学館文庫

## 『世界から猫が消えたなら』

川村元気 著

2014年9月18日発売 定価：本体620円+税

## 映画化決定！

出演：佐藤健 宮崎あおい 監督：永井聡



このほど、2013年本屋大賞にノミネートされた大ベストセラー小説『世界から猫が消えたなら』を文庫化するのはこびとなりました。(累計70万部突破)

本作は、余命わずかだと宣告された30歳の郵便配達員が、突如現れた「自分と同じ姿をした悪魔」と取引し、世界から何かひとつを消すことで1日の命を得ていきます。そのなかで、かつての恋人、親友、疎遠となってしまった父、死別した母との絆を確かめていく感動的な物語です。単行本刊行時から話題を呼び、秋元康氏や小山薫堂氏、作家の角田光代氏など各界からコメントが寄せられ(別紙参照)、2013年本屋大賞にノミネート。昨年はNHKにてラジオドラマ化(出演:妻夫木聡、貫地谷しほり、國村隼)され、同作はギャラクシー賞奨励賞を受賞しました。

## ◆◆川村元気(かわむら・げんき)氏略歴◆◆

1979年生まれ。東宝で『電車男』『告白』『悪人』『モテキ』『おおかみこどもの雨と雪』などを製作。'11年には優れた映画製作者に贈られる「藤本賞」を史上最年少で受賞。'12年に本作で作家デビュー。'13年に初の絵本『ティニー ふうせんいぬのものがたり』を発表し、同作はNHKでのアニメ化が決定している。'14年は劇団ひとり氏監督『青天の霹靂』(公開中)、岩明均氏原作の人気漫画『寄生獣』(11月29日公開)をプロデュース。

小学館文庫『世界から猫が消えたなら』特設サイト

<http://www.shogakukan.co.jp/pr/sekaneko/>

# 『世界から猫が消えたなら』に 寄せられたコメントを一部紹介します。

## 秋元康（作詞家）

さりと、凄いことを書いている小説だ。頭で考えた文章ではなく、感じるままに書きなぐった言葉が、ストレートに突き刺さる。川村元気の小説は、音楽だ。

## 大根仁（映画監督）

参った。泣けて泣けて仕方がない。映画をつくっているときの川村元気は悪魔のような男なのに、この小説はまるで聖書じゃないか！

## 角田光代（作家）

小説だが、これはむしろ哲学書なのではないかと思えてくる。(中略)なぜ私たちは映画を見てわくわくするのか。なぜ私たちは絵画を見て涙するのか。そうしたことの答えを教わった気がした。

一文藝春秋2013年2月号より抜粋

## 小山薫堂（作家・脚本家）

困ったことに、面白すぎる。軽やかでありながら、深く、笑ってしまうのに、切ない。

## SEKAI NO OWARI Fukase（ミュージシャン）

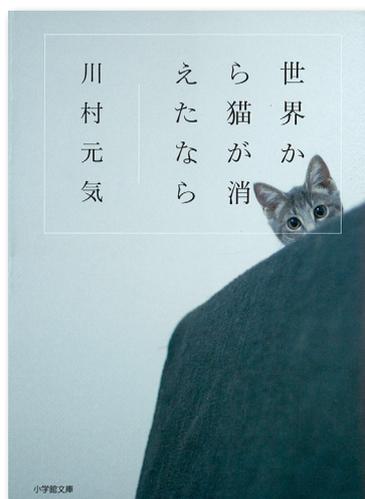
181ページ4行目からの「言葉」に、胸を打たれた。あの主人公のお母さんのような気持ちを、僕は、いつか産まれてくる子供に抱くことが出来るだろうか。もし同じように想えたら、僕の生涯は最高のハッピーエンディングだ。

## 中谷美紀（女優）

読み終わった後、大切な人に逢いに行きたくなりました。

## 中森明夫（コラムニスト）

これは、すごい小説だ。特別な物語だ。(中略)今後ずっと読み継がれる。現代の古典になるだろう。



小学館文庫

## 『世界から猫が消えたなら』

川村元気・著

2014年9月18日発売

定価： 本体 620 円 + 税